

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 1 月 2 0 日

【事業所概要(事業所記入)】

|         |  |           |  |
|---------|--|-----------|--|
| 事業所番号   | 3490100116                             |           |  |
| 法人名     | 社会福祉法人 広島光明学園                          |           |  |
| 事業所名    | グループホーム光明牛田新町                          |           |  |
| 所在地     | 広島市東区牛田新町3丁目20-15<br>(電話) 082-222-3223 |           |  |
| 自己評価作成日 | 平成22年12月20日                            | 評価結果市町受理日 |  |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|             |  |
|-------------|--|
| 基本情報リンク先URL |  |
|-------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                    |  |  |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト            |  |  |
| 所在地   | 広島市安佐北区口田南4-46-9 (電話) 082-842-1051 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年1月18日                         |  |  |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| 情報の共有をどれだけ全スタッフで行う事ができるか。特に専門職(ケアマネ、看護師)と介護スタッフ、担当者が連携をとって、利用者様により質の高いサービスができるかに力を入れています。 |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| 地域貢献を重点的に運営されている社会福祉法人が母体で3年前に開設、1階は地域のサロンとして開放され近隣地域に親しまれるホーム運営に努められています。ホーム長を中心にして、利用者の目線を大切に、寄り添う介護を目標としている若い職員や人生経験の豊かさを利用者との会話に役立て喜ばれている中高年の職員等落ち着いた癒しの輪の中で利用者は支援されている雰囲気が見えました。今春4月には保育園が隣接地に開設され、高齢者にとって最も好まれる園児達の戯れる風景を日常的に眺められ、又交流の時間も再三に持たれる等、理想的な高齢者介護施設が実現される事が期待されます。 |
|--|

| 自己評価     | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------|------|---|--|--|-------------------|
|          |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 |      |   |  |  |                   |
| 1        | 1    | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。  | 法人の理念そのものが、地域密着をめざしているので実践につなげている。               | 母体法人が掲げられている「三宝一如」の理念を基にホーム長は自分が入所している気持ちで日々のケアに当たることの大切さを常に職員に伝えて指導されています。  |                   |
| 2        | 2    | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。  | 町内会の行事にも参加させてもらい、声もかけていただいている。                   | 地域には地元で大切に守られている歴史的な社、寺があり、地域ぐるみで行われる夏祭りや秋祭りには参加の呼びかけを受け利用者共々楽しみとされている。地域の運動会にも毎年招待を受けお弁当を楽しみにされている利用者も居られる。         |                   |
| 3        |      | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。  | 町内会の行事、法人行事の参加によって、地域の人々との交流を通して、理解・支援の方法を決めている。 |  |                   |
| 4        | 3    | 運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。                                       | 地域の民生委員、家族の方の意見を参考にサービス向上に努めている。                 | 運営推進会議は民生委員、家族代表、地域包括の職員、ホーム関係者等平均7人で2カ月に1回開催され、現況報告や行事の報告等を行い出席者より今後の取り組みについての意見を頂いている。又ホームより季節的な健康管理の情報の提供等もされている。 |                   |
| 5        | 4    | 市町との連携<br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。   | 特に防災において、消防署との連携と指導を受け、利用者様の安全確保に努めている。          | 法律的な制度の疑問点や運営上の問題などは法人母体を通して常に市介護保険課と連携して解決を図っている。ホーム独自では防災関係で消防署との連携と指導を受けている。                                      |                   |
| 6        | 5    | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 玄関に施錠はしていないが、自動ドアによって工夫している。                     | ホーム居室が建物の2階と3階に位置し、出入はエレベーターでの移動となり、操作上の見守りが必要不可欠となっている。職員は身体拘束についての弊害は充分理解し、行動の束縛は行わず見守りに細心の注意をされている。               |                   |
| 7        |      | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。                                      | 口の施設内研修を通して学び、利用者様の人生そのものを尊重するよう心掛けている。          |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。    | 家族の方が一人で成年後見制度の手続きをされた時に、相談されたことについては全面協力させてもらい勉強にもなった。      |  |                   |
| 9    |      | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                         | 契約の際に、重要事項の説明をしっかりとさせていただき、理解と納得を努めている。                      |  |                   |
| 10   | 6    | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                      | 家族が来園された時は、直接言えないような利用者様自身の要望がないか、声掛けをしている。要望があれば応えるようにしている。 | 職員が担当制で利用者や家族との関係を密にし要望や意見が言いやすい雰囲気作りがされています。直近では隣接地に保育園の建設工事中で騒音もある為、家族より外出支援の提案があり、家族の協力も得てスーパー銭湯への入浴支援が実現し大変喜ばれた。 |                   |
| 11   | 7    | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | 会議やアンケートによって反映させている。   | ホーム長はミーティングや会議で職員の意見をより多く引き出せるよう努めている。職員の提案による「全員で宮島に参拝する」という計画を職員独自の実行計画のもとに好季節の5月に行われる予定が決められ、職員の士気が高められています。      |                   |
| 12   |      | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | 極力希望休がとれるようにシフト調整を図って仕事にメリハリをつけてもらうように努めている。                 |  |                   |
| 13   |      | 職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | 職員一人ひとりの将来の目標を把握することによって、それぞれ個々にアドバイスしている。                   |  |                   |
| 14   |      | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 研修に参加させていただき、他事業者の生の意見を聞いて参考にしている。                           |  |                   |

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                   |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |      |  |   |   |                   |
| 15                |      | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>基本情報を理解し、アセスメント等を通して徐々に距離感を縮めていき、安心した居場所であるように働きかけている。</p> |   |                   |
| 16                |      | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>            | <p>家族としての立場を理解し、苦しみ、悩みを共有するように努めている。</p>                      |   |                   |
| 17                |      | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>        | <p>もし何かあった場合のことを想定して病院との連携や、当法人との連携にも努めている。</p>               |   |                   |
| 18                |      | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>                           | <p>介助が精一杯で暮らしを共有するまでにはまだ勉強が必要である。</p>                         |   |                   |
| 19                |      | <p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>            | <p>ホームを自室と捉え、家族にも遠慮なく出入りしていただけるように努めている。</p>                  |   |                   |
| 20                | 8    | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>                        | <p>広島市内をドライブして昔話などをしながら、思い出を探ったりしている。</p>                     | <p>家族と相談しつつ、入所以前の友人の訪問を受け入れ利用者が喜ばれている。母体が運営されてい園児達と度々交流が持たれ心身の刺激とされている。</p> |                   |
| 21                |      | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>                     | <p>食卓を2つ、3つと分け、隣近所のように少数での関わり合いを大切にしている。</p>                  |   |                   |
| 22                |      | <p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をサポートし、相談や支援に努めている。</p>     | <p>地域の方の場合、身近なこともあり、行事等との関わりを大切にし、支援を心掛けている。</p>              |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 23   | 9    | 思いやりや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。   | 何かあれば担当者会議を開催して、一人ひとりの対応を検討している。                        | 職員が担当制となることで個々の利用者や家族との信頼感が保たれ意向が汲み取り易く、申し送りノートで共有したり担当者会議で対応の検討が行われている。                              |                   |
| 24   |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                                       | 会話の中からの情報・家族からの情報を職員で共有するように努め、生活環境などの把握に努めている。         |   |                   |
| 25   |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。   | 1ヶ月ごとの現状報告書の作成により、現状の分析に努め把握している。                       |   |                   |
| 26   | 10   | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 当事業所で重要な課題となっている項目である。まず何でもチャレンジしてみようという方針で対応している。      | ホームとしても重要な課題として位置づけし担当の職員が利用者や家族より汲み取った意見要望を基に立案し、実行に移す方針を取り、介護計画に盛り込むようにされている。                       |                   |
| 27   |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | 個別の記録に加え、担当者会議用のファイルを作り見直しに役立てている。                      |   |                   |
| 28   |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | 家族との連携を重視し、何かと参加を呼びかけている。                               |   |                   |
| 29   |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                         | 地域の行事の参加により、住民と子供たちのふれあいによって、より豊かな暮らしとメリハリを作るように心掛けている。 |   |                   |
| 30   | 11   | かかりつけ医の受診診断<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                     | 地域のかかりつけ医の往診と、電話連絡等により、より充実した支援に努めている。                  | 大半の利用者はホームの近隣の内科医がかかりつけ医であり週1回往診がされ、投薬を受けている。又不調になられた時は職員が付き添って受診している。大きな変化がある時はかかりつけ医より専門医に紹介がされている。 |                   |

| 自己評価                  | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|-----------------------|------|---|--|---|---|
|                       |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 31                    |      | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>                      | <p>健康チェックや、身体状況の変化については、看護師の指示のもと行動している。</p>                   |   |   |
| 32                    |      | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>  | <p>病院との連携を家族ともに考え、万が一の時に備え、関係づくりを行っている。</p>                    |   |   |
| 33                    | 12   | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>医療以外の分野においては、出来る限りの支援を検討しているが、医療行為が必要な場合は、入院等の選択を考えている。</p> | <p>現状では重篤な医療行為が生じる場合は家族を交えてかかりつけ医と相談の上、入院などに移行してもらっている。家族よりの要望もあり将来的には人材の充実を図り看取りの方向を考えられている。</p> |   |
| 34                    |      | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>   | <p>マニュアルを繰り返し確認するように心がけ、抜き打ちで訓練をしている。</p>                      |   |   |
| 35                    | 13   | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>   | <p>定期的に防災・避難訓練を行い危機管理を心がけている。</p>                              | <p>定期的防災避難訓練はホーム内でされ、危機管理をされている。近隣との災害時の連携については近日に検討される意向を持たれている。</p>                             | <p>災害時の近隣との連携は優先順位を早められ、運営推進会議に近隣有志の参加を得られ、災害対策の連携、協力を得る事が期待されます。4月より保育園が併設開園されるのを機会に近隣との話し合いを持たれる意向です。</p> |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |   |   |
| 36                    | 14   | <p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>  | <p>言葉遣い、声がけについて、丁寧さを心掛けているが、なによりそれに対して利用者の表情を大切にしている。</p>      | <p>訪問当日も職員は穏やかな言葉で声かけをされていた。ホーム長や職員は寄り添うケアを大切にをモットーに、共に暮らす家庭人として利用者の表情の表出にも気配りをされている。</p>         |   |
| 37                    |      | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>   | <p>本人からの訴えがあれば、自己決定できるように本人への声がけや家族からの間接的要望を聞いている。</p>         |   |   |
| 38                    |      | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>                                   | <p>一人ひとりのペースより、時間的な問題により施設側のペースになったりすることもある。</p>               |   |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|------|------|---|---|--|---|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 39   |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。   | 日ごろは、ご本人の好みに任せている状況と、家族の好みに対応しており、おしゃれまではできていない。外出行事の際には身だしなみを整えておられ、支援できている。 |  |   |
| 40   | 15   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。            | 徐々に利用者と一緒に食事の準備、片付けができなくなってきている。もう少し細かくできるところを分けて支援していきたいと思う。                 | 主には配食業者の管理栄養士が立案された食材の供給を受けホームで調理されているが、フロア利用者の好みを織り交ぜる為、ホームで購入した食材を時折は加えている。後片付けを職員と一緒にされている利用者が見受けられた。 | 症状の重度化により無気力になられ、キッチンと遠ざかる利用者に対し、職員の工夫や声かけで些細な一作業でも参加を求められ、利用者が参加された喜びを実感されるよう期待されます。 |
| 41   |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                 | 食事量・水分量については確認し、バランスをとるように支援している。   |  |   |
| 42   |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                         | 口腔ケアと同時に訪問歯科との連携をとっている。   |  |   |
| 43   | 16   | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。          | オムツにならないように、常にトイレ誘導をとっている。  | 職員のさりげない声かけや動作で排泄の支援はされて、昼間のオムツ使用は減少されバットで済まされる方が増えている。この現況は職員全員の励みとなっています。                              |   |
| 44   |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。                          | 便通がよくなる食事(食物繊維、乳酸菌)など取り入れるように心掛けている。おやつなども工夫している。                             |  |   |
| 45   | 17   | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 個々のペースより、事業所側のペースになっている。しかし、利用者リズムをつかみ、無理のないように対応している。                        | 希望者を優先しつつも、入浴拒否者もあり、週二回は必ず入浴してもらう事を計画に入れ、利用者の生活リズムを把握しながら、声かけに工夫を加えて入浴の支援がされています。                        |   |
| 46   |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。                           | 利用者のペースで、眠っていただいている。昼夜逆転にならないように、夜間は付き添っていく支援をしている。                           |  |   |
| 47   |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。                      | 服薬については、何人もの職員の手を借りるので、変化や服薬事故がないように努めている。                                    |  |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48   |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。  | 一人ひとりではなく、1フロアごとに楽しみを共有している。現在の課題は個別ケアである。           |   |                   |
| 49   | 18   | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。                     | 外出できる余裕や時間があれば、家族とも協力しながら支援している。                     | お花見やお祭り等の年間行事の他、母体法人内の園児達との交流が度々行われ、利用者は楽しみにされている。家族の協力を得ながら外食やスーパー銭湯への外出は大変好評であった。来る五月頃には職員の発案で宮島への参拝が企画されている。               |                   |
| 50   |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。  | 金銭は基本的に家族の同意のもと施設管理させてもらっている。                        |   |                   |
| 51   |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | 利用者自身の携帯で対応したり、要望により事業所の電話などで支援している。                 |   |                   |
| 52   | 19   | 居心地の良い共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 掲示物や置物により季節感を出し、生活にメリハリを持っていただくように工夫している。            | 当日は隣接地が工事中であるため、リビングの採光が妨げられている旨説明があった。食堂を兼ねたリビングは広くソファが置かれゆったりとした空間で外観の松林の眺めがあった。四月に開園される保育園の園児達との交流の場所として利用されることが今から期待されます。 |                   |
| 53   |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | ソファなどを用意し、くつろいでいただけるよう工夫しているがあまり利用されず、居室で過ごされることが多い。 |   |                   |
| 54   | 20   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | 使えなくなっているものもあるが、使い慣れたものは積極的に持ち込んでいただいている。            | 自宅で愛用されていた小タンスや椅子が自室で使用され、壁には鼻眞のスポーツ選手の大判の写真が張られ、利用者個人の好みの場所作りをされている。家族から要望された小型冷蔵庫が持ちこまれ、栄養補給用にされると説明があった。                   |                   |
| 55   |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。  | バリアフリー等で、安全は確保するように努め、一人ひとりの行動を制限しないように努めている。        |   |                   |

グループホーム光明牛田新町

| アウトカム項目 |  |  |   |
|---------|--|--|---|
| 56      | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     |  | ほぼ全ての利用者の<br>利用者の3分の2くらいの<br>利用者の3分の1くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 57      | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |  | 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない                    |
| 58      | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 59      | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 60      | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 61      | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 62      | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 63      | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |  | ほぼ全ての家族と<br>家族の3分の2くらいと<br>家族の3分の1くらいと<br>ほとんどできていない    |

グループホーム光明牛田新町

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          |  | ほぼ毎日のように<br>数日に1回程度<br>たまに<br>ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている |  | 大いに増えている<br>少しずつ増えている<br>あまり増えていない<br>全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  |  | ほぼ全ての職員が<br>職員の3分の2くらいが<br>職員の3分の1くらいが<br>ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             |  | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の3分の2くらいが<br>利用者の3分の1くらいが<br>ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         |  | ほぼ全ての家族等が<br>家族等の3分の2くらいが<br>家族等の3分の1くらいが<br>ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田新町

作成日 平成 年 月 日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---------------|----|--------------------|------------|
| 1    |      |               |    |                    |            |
| 2    |      |               |    |                    |            |
| 3    |      |               |    |                    |            |
| 4    |      |               |    |                    |            |
| 5    |      |               |    |                    |            |
| 6    |      |               |    |                    |            |
| 7    |      |               |    |                    |            |

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。